

## トールス 60 発足の経緯

トールス 60 代表 浅倉泰

湘南高校サッカー部同期、今は亡き山口晴夫に誘われて湘南ペガサス(40)に入会し、はや30年になろうとしています。その間活動の濃淡は有りましたが一貫して湘南ペガサスに籍を置き、サッカーを楽しませて頂いている事にまず感謝したいと思います。現役時代はこれといった実績を残せなかったのですが、50になって上のチームに移籍した2002年に神奈川シニアリーグで無敗の優勝、そして神奈川代表として関東大会への出場と夢のような体験が出来ました。このまま続けて行けば全国大会への出場の可能性もあるのではと思っていた頃も有りましたが、現実はなかなか厳しい模様です。

さて湘南ペガサスに入ったのに「なぜトールス 60 なのか」についてその経緯を纏めておきたいと思います。2018年のシーズンを迎えるに当たってペガサス60は問題を抱えていました。それは次年度に50から60に上がる選手が多く全員が上がった場合参加者が多くなり、試合出場の機会が大幅に減ってしまう事が危惧されました。そこで60を2チームに分割できないかという事が議論されました。まず一番の問題はシニアリーグが同一カテゴリーに兄弟チームの加盟は認めないとのルールが有りました。過去、ペガサスは40雀ではペガサスAとB、50雀ではペガサス50と55の2チームエントリーをしてきましたが、その後新たなルールが出来たわけです。そこでシニアリーグの理事をしておられた伊通先輩にその可能性を打診していただき、「違うチーム名でユニフォームも違えばリーグとしては拒む理由が有りません、但しチーム名に湘南が入るのはNO。」との事でした。もう一つの問題は二つに分割して果たしてそれぞれのチームで毎試合人数が集まるのかという点です。年齢を重ねると怪我による離脱が多くなり、シーズン初めは多過ぎる位の参加がありますが、シーズン終わり頃はギリギリという事も容易に想定できました。ペガサス60の代表をしていた私がメンバーの過去の参加率を分析して、ここまで新チームのメンバーにしなければ分割は見送りましょうとの提案を行い、当初は65歳以上で区切るところを64歳まで下げました。ペガサス幹事会でその案について議論を尽し、最終的には出場機会が増えれば参加率も上がるでしょう、との森会長の裁断で2018年シーズンは2チーム体制で臨む事に決定しました。名前も森会長の提案で星座名に因んだペガサスの延長でトールス(牡牛座)に決まりました。

新チームの代表になった私はシニアリーグの新規加盟チームの審査会で面接を受け、めでたく2018年度は湘南ペガサス60とトールス60の2チームでのスタートになりました。2018年度は棄権試合も無く、無事終了しましたが、トールスの最終戦は最後まで参加者8人でもう棄権かという時に膝の手術直後の坪井さんが参加してくれる事になり、私も腰を痛めて1ヶ月運動をしていませんでしたが立っているだけ参加をお許し頂き、不名誉な棄権を回避する事が出来ました。チーム登録時にお世話になった伊通先輩の顔を潰さずに済みホッとしました。唯一の誤算はペガサス60が1部から降格し、2019年度は同じ60雀2部で戦うことになった事です。(追補2019年度2部優勝で1部に復帰)